

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 フィブリン干渉を惹起しやすい内分泌検査項目の探索と検出法の開発：患者の廃棄血および健常人ボランティアの血液検体を用いた研究
	研究の対象 2023年9月～2028年3月に内分泌代謝内科を受診された患者様 10名
	研究の目的 皆様は病院で血液検査を受けられることがあると思います。この際に、血液中に残存した視認できないフィブリンによる干渉が知られています。HBs 抗原・HCV 抗体の偽陽性、あるいはトロポニンIの偽高値などが報告されていて、本来は異常がないにもかかわらず、病気の疑いがもたれてしまうことなどが問題になってきました。理論上は内分泌ホルモン検査にいても、フィブリンによる干渉は生じうるのですが、これまでその実態は殆ど知られていませんでした。そのため、フィブリン干渉を惹起しやすい内分泌検査項目を探索することをこの研究の1つめの目的としています。また、フィブリン干渉を見逃さずに検出できる検査法の開発を、2つめの目的としています。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2028年3月まで。
	利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は	研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等 試料：血液（血液検査後に不要となって廃棄予定のもの）</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 大場健司</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 医学教育推進センター 大場健司</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医学教育推進センター 担当者： 大場健司</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

TEL : 0534352843

E-mail : ohbak<at>hama-med.ac.jp
<at>を@に変換してください